

**1. 科目コード**

1251

**2. 科目名**

探究実践演習

**3. 担当教員**

炭谷 俊樹 (Toshiki Sumitani)

**4. 開講期**

春1学期

**5. 科目の目的・概要**

社会の課題を発見し、自らの強みや経験を活かしながら解決策を立案、実行して価値を生み出す「探究実践」の考え方を知り、実際に実践してみることを通じ、人間力を育成する。特定課題研究実行の基礎ともなる。

実際に探究テーマを決め、同じテーマに興味のある学生同士のグループを構成し、社会価値を提供するための仮説の作成と検証を行う。

**6. 科目の学習目標**

- (1) 社会に存在する未解決の課題を発見する
- (2) 自分や人の強みや特徴を知る
- (3) 両者を組み合わせた探究テーマを発見する
- (4) 探究テーマについて、新しい価値提供の仮説を構築する
- (5) 探究テーマについて仮説の独自性を検討する。また収支面からの仮説の検証を行う
- (6) 以上をまとめ、プレゼンテーションを行う

**7. 本学の教育目標と科目の学習目標との対応**

教育目標		学習目標	
高度ICT スキルの修得	基礎的素養		
	専門知識および業務応用力		
人間力 (=探究力) の修得	自ら強みを磨き続ける力	(2)	
	自ら社会における 課題を発見し、 解決する力	課題設定	(1)(3)
		仮説立案	(4)
		仮説検証	(5)
		実行	(6)
	社会人基礎力	前に踏出す力	(1)(3)(4)
考え抜く力		(5)(6)	
チームで働く力		(4)(5)(6)	
職業倫理の修得			

**8. 履修要件(前提科目)**

なし

**9. 教科書**

「ゼロからはじめる社会起業」 炭谷俊樹 (Kindle版)

**10. 参考書**

「実践 課題解決の新技术」 炭谷俊樹 (PHP研究所)

## 11. 評価方法と配点

学習目標	達成度評価方法と配点					
	期末試験	小テスト	レポート	発表	成果物	その他
(1)			○		○	
(2)			○			
(3)			○		○	
(4)			○		○	
(5)			○		○	
(6)				○		
配点			30	30	40	

## 12. 備考

課外時間に、インタビュー等の調査を実践する必要がある。  
授業に必要な資料の提示や演習の出題、提出等はMoodleで行う。

## 13. 授業計画

(注) 授業計画は、あくまでも予定であり、実施時に、適時、追加・変更・修正等が生じる場合があります。

### 第1回 探究とは (講義90分)

「探究」の考え方、全体の枠組み、大学院生活および修了後の社会での経験との関係について述べ、探究の意義を理解する

- ・「探究」とは何か、その意義(30分)
- ・本科目の目的及び進め方(20分)
- ・探究事例紹介(40分)

### 第2回 テーマ設定(1)身近な体験からの着想 (講義&グループ実習 90分)

各自にとって身近な体験から探究テーマの候補を挙げる

- ・テーマ設定の概要説明(20分)
- ・個人のライフサイクルチャートの作成(20分)
- ・3名程度の小グループで各自の経験や興味についての相互インタビューの実施(30分)
- ・個人で興味のある探究テーマ候補のリストアップ(15分)
- ・次回に向けての準備説明(5分)

### 第3回 テーマ設定(2)テーマを広げる (講義&個人実習 90分)

自分以外の視点からもテーマの候補を挙げ、視野を広げる

- ・概要説明(10分)
- ・世の中の動きや課題・人の不満からの発想(30分)
- ・ICTを活用した課題解決の事例の調査(40分)
- ・個人テーマ候補の追加(10分)

### 第4回 テーマ設定(3)テーマを絞る (講義&個人実習 90分)

第2、3回でリストアップしたものから各自が最も興味のあるテーマ2~3個に絞り込む

- ・概要説明(10分)
- ・絞り込みのための評価表の作成(60分)
- ・2~3のテーマに絞り込み(15分)
- ・次回に向けての準備説明(5分)

---

第5回 テーマ設定(4)テーマの共有とグループ決め (グループ実習 90分)

---

個人が興味を持つテーマを全体で共有し、興味の近い学生同士でグループを構成する

- ・ 概要説明(10分)
- ・ 個人のテーマの発表・共有(60分)
- ・ グループ決め(20分)

---

第6回 テーマ設定(5)価値創造の仮説作成 (講義&グループ実習 90分)

---

グループ内で問題意識を共有し、新しい提供価値の仮説を作成する

- ・ 概要説明(10分)
- ・ グループ内での問題意識の共有(20分)
- ・ 新しい提供価値に関するアイデア出し(30分)
- ・ 新しい提供価値の仮説のまとめ(25分)
- ・ 次回に向けての準備説明(5分)

---

第7回 仮説検証(1)－1 受け手の視点 (講義&グループ実習 90分)

---

サービスの受け手視点での検証の重要性を理解する

- ・ グループで検討した仮説の発表・質疑(40分)
- ・ 3つの検証ポイント・サービスの受け手視点の説明(10分)
- ・ サービスの受け手など関わる人の洗い出し(グループワーク)(40分)

---

第8回 仮説検証(1)－2 インタビュー (講義&グループ実習 90分)

---

グループの探究テーマ検証のためのインタビューを設計する

- ・ 概要説明(10分)
- ・ インタビュー設計(70分)
- ・ 次回に向けてのインタビュー実施説明(10分)

---

第9回 仮説検証(2)－1 独自性の視点 (講義&グループ実習 90分)

---

自らのサービスの独自性を打ち出すことの重要性を理解する

- ・ インタビュー検証結果のまとめ(60分)
- ・ 独自性の重要性と検討方法(15分)
- ・ 事例紹介(15分)

---

第10回 仮説検証(2)－2 独自性の検討と検証 (講義&グループ実習 90分)

---

グループの探究テーマ検証のための他事例調査を実施し、独自性を検討する

- ・ 概要説明(10分)
  - ・ 他事例調査(40分)
  - ・ 独自性および追加検証項目の検討(35分)
  - ・ 次回に向けての検証のための調査実施説明(5分)
-

---

第11回 仮説検証(3)－1 収支の視点

(講義&グループ実習 90分)

---

収支をとることの考え方を理解する

- ・ 検証結果のまとめ(60分)
- ・ 収支シミュレーションの考え方説明(15分)
- ・ 収支シミュレーションの事例紹介(15分)

---

第12回 仮説検証(3)－2 収支シミュレーション

(グループ実習 90分)

---

グループの探究テーマの簡単な収支シミュレーションを行う

- ・ 概要説明(10分)
- ・ シミュレーション実習(60分)
- ・ 追加検証項目の検討(15分)
- ・ 次回に向けての検証のための調査実施説明(5分)

---

第13回 提案(1) プレゼン資料のまとめ

(講義&グループ実習 90分)

---

以上の検討結果をまとめ、プレゼンテーション資料を作成する

- ・ 検証結果のまとめ(20分)
- ・ プレゼン資料作成説明(10分)
- ・ プレゼン資料作成(60分)

---

第14回 提案(2) プレゼンテーション

(全体でのグループ実習 90分)

---

明快でインパクトのあるプレゼンテーションを行う

- ・ 前半グループのプレゼンテーション (1グループにつき、発表10分、質疑10分程度)

---

第15回 提案(3) プレゼンテーションと振り返り

(全体でのグループ実習 90分)

---

明快でインパクトのあるプレゼンテーションを行い、全体を振り返る

- ・ 後半グループのプレゼンテーション (1グループにつき、発表10分、質疑10分程度)
  - ・ 振り返りセッション:これまでに学んだことを各自振り返り、レポートにまとめる
-